

第3期 平成28年度第1回 新宿区多文化共生まちづくり会議 議事概要

日 時 平成28年9月12日（月）13:00～15:00

場 所 区役所本庁舎6F 第2委員会室

出席委員 毛受委員、川村委員、稲葉委員、郭委員、長谷部委員、小野委員、渡邊委員、余委員、張委員、金相烈委員、高委員、丁委員、イーイーミン委員、センブ委員、シュレスタ委員、江副委員、鈴木委員、バーバー委員、金朋央委員、盛委員、李委員、梶村委員、安藤委員、平野委員、植木委員、森田委員、竹内委員、澤田委員、船山委員 29名

欠席委員 井上委員、ジャフリ委員、本多委員 3名

1 開会

2 委員委嘱

3 新宿区長挨拶

4 議事

(1) 会長、副会長の選出

会長に毛受委員、副会長に李委員、森田委員が選出された。

(2) 委員自己紹介

(3) 会議の運営について

事務局から、平成27年度に実施した「新宿区多文化共生実態調査」の結果を踏まえ、第Ⅲ期では「外国人住民と日本人住民が新宿で共に暮らしていくための課題と情報提供」を大きなテーマとする部会形式での審議が提案され、各委員から意見が挙げられた。

・実態調査結果から、生活で困っていることとして日本語が挙げられている。今期のテーマである情報提供では、日本語を含めた視点で議論できたら良い。

・外国人観光客を受け入れるにあたり、医療の多言語化の議論が国で始まっている。この会議でも母子保健や公衆衛生などの医療分野に触れたい。

・暮らしというテーマのなかの、まちの安心安全についての議論の内容は、警察関係者にも知っていただきたい。

・共生のためには、地域の活動に日本人と外国人がともに参加することが重要である。

・外国人だからという理由で部屋探しが大変だった経験がある方が多くいる。しかしなが

ら、なかには退去手続きをせずに、家具もそのままに帰国する人がいて、大家さんたちが苦労しているのを見ると、外国人の自分としても部屋を貸しにくい気持ちが理解できる。

- ・暮らしのルールについて注意を受けた外国人側が「外国人だから注意されるのか」という気持ちでいる場合がある。

- ・日本人はルールをわかりやすく伝える。外国人はルールを正しく理解して守る。両方の努力が必要である。

これらの意見を踏まえ、今期は全体会のほか2つの部会を作って進めていくこととした。

(4) その他

事務局から第2回会議の日程（平成28年10月28日）について説明があった。

5 閉会